

令和5年度職員表彰の被表彰者名簿

1. 学長賞

職名・氏名	功労等の内容	国立大学法人滋賀大学 職員表彰規程該当条項
教育学系 (教育学部) 教授 児玉 奈々 (こだま なな)	教育実践優秀賞に選考された。	学長賞 第3条第1号 該当
経済学系 (経済学部) 教授 森 宏一郎 (もり こういちろう)	教育実践優秀賞に選考された。	学長賞 第3条第1号 該当
データサイエンス学系 (データサイエンス学部) 准教授 寺口 俊介 (てらぐち しゅんすけ)	教育実践優秀賞に選考された。	学長賞 第3条第1号 該当
学務課 教務係 [団体]	彦根地区(経済学部・データサイエンス学部)の保護者等への修学状況(個別成績)通知において、郵送から既存システム等を利用したオンライン通知へコストを掛けずに構築し、業務の効率化に多大な貢献をした。	学長賞 第3条第2号 該当
経済学系 (経済学部) 准教授 宮西 賢次 (みやにし けんじ)	彦根高商創立百周年記念事業の一環としてノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス教授による記念講演会(テーマ:「グラミン銀行の歴史と3ゼロの世界」)を開催し、本学の知名度を向上させるなどの多大な貢献をした。	学長賞 第3条第1号 該当
経済学系 (経済学部) 教授 御崎 加代子 (みさき かよこ)	学術論文「Walras on Sympathy (ワルラスの共感概念)」が経済学史を専門とするフランスの学術雑誌『Revue d'histoire de la pensee economique』に掲載され、また、これまでの研究成果をまとめられた書籍 Leon Walras's Economic Thought: The General Equilibrium Theory in Historical Perspective (レオン・ワルラスの経済思想: 歴史的視点からの一般均衡理論)が、イギリスの大手出版社 Routledge から公刊されるなど、本学の学術貢献に大きく寄与した。	学長賞 第3条第1号 該当
データサイエンス学系 (データサイエンス学部) 教授 市川 治 (いちかわ おさむ)	数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアムにおける特定分野会議(人文・社会科学系)のとりまとめ責任校として、人文社会科学系の学部・学科におけるモデルシラバス作成を本学 WG のリーダーとして事業を遂行し、また、生成 AI 入門講義を開講し、新聞社の取材を受けるなど本学の広報にも大いに貢献をした。	学長賞 第3条第1号 該当

<p>データサイエンス学系 (データサイエンス学部) 教授 杉本 知之 (すぎもと ともゆき)</p>	<p>大学院データサイエンス研究科博士後期課程学生を受け入れ指導し、今年度採択された大学・高専機能強化支援事業「支援2 (ハイレベル枠)」に関する評価を高め、本学の研究力・研究指導力を示す上で学生の教育指導に大きな成果を上げた。</p>	<p>学長賞 第3条第1号 該当</p>
---	--	------------------------------

## 2. 奨励賞

職名・氏名	功労等の内容	国立大学法人滋賀大学 職員表彰規程該当条項
<p>経済学系 (国際交流機構) 准教授 田村 あずみ (たむら あずみ)</p>	<p>経済学部国際教育推進委員会の委員として、長年、経済学部グローバル・コースの運営に携わり、海外研修・海外インターシップの企画・実施に尽力し、また、国際交流機構配置の教員としても、企画・運営において経済学部のグローバル化に多大な貢献をした。</p>	<p>奨励賞 第3条第1号 該当</p>
<p>経済学部 経済経営研究所 [団体]</p>	<p>本学経済学部の附属施設として、長年、資料の収集と管理に取り組み、彦根高商創立百周年記念事業として、再整理を進めてきた彦根高商に関する収集資料を紹介し、また、学内外における広報活動においても多大な貢献をした。</p>	<p>奨励賞 第3条第1号 該当</p>
<p>経済学系 (経済学部) 教授 小野 善生 (おの よしお)</p> <p>経済学系 (経済学部) 准教授 竹中 厚雄 (たけなか あつお)</p> <p>経済学系 (経済学部) 教授 陳 韻如 (ちん いんじょ)</p> <p>経済学系 (経済学部) 准教授 後藤 良介 (ごとう りょうすけ)</p>	<p>社会人向けビジネスサイエンス講座「滋賀大学ビジネスサイエンス MOOC 講座パッケージ」の制作にあたり、専門分野での講座パッケージの開発に尽力し、ビジネスを通じた社会課題の解決及び経済の活性化に寄与した。</p>	<p>奨励賞 第3条第1号 該当</p>
<p>データサイエンス学系 (データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター) 助教 田島 友祐 (たじま ゆうすけ)</p>	<p>あいおいニッセイ同和損害保険、パナソニック、CCC、大阪ガスなど多くの企業等との共同研究を推進し、特にあいおいニッセイ同和損害保険との研究結果では特許を取得し貢献した。また、学部講義に加え、複数の出張講義を担当するなど学部教育の推進についても貢献をした。</p>	<p>奨励賞 第3条第1号 該当</p>